marantz®

Model DR110 取扱説明書

Compact Disc Recorder



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



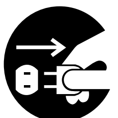
警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



警 告


電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



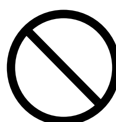
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


接触禁止

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。


電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警 告



- この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

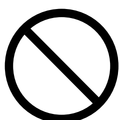


分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



注 意

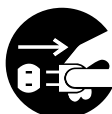


- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。





- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用についても販売店などにご相談ください。



- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

結露現象について

本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房をいれた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

目次

ご使用の前に

CD-R、CD-RWについて

マランツ CDレコーダーを使うと、"write-once"(ライト・ワンス)CD-Recordable(レコーダブルCD：CD-R)または再使用可能なCD-RWディスク上に、自分専用の高品質オーディオCDを作成することができます。ディスクへの録音は、すべて１度にまたは追記で行うことができます。個人専用CDを作成する場合は、複製に関する一定の法的制約が適用されます。著作権法の定めに従い、本機及び民生向けCD-R、CD-RWディスクの価格には、私的録音保証金が含まれています。

未録音のCD-Rディスクは、記録用色素層と記録時にレーザー・ビームをガイドする「プリグルーブ」を備えています。録音が完了し「ファイナライズ」が終了すると、録音内容は、ディスク寿命が終わるまで保持されます。ただし、録音、ファイナライズされたCD-Rディスクは反射率、ピックアップ等の関係により、一部のDVD、CDプレーヤーで再生できないことがあります。

CD-RWディスクは、「位相変化」層を備えています。この層は、レーザー・ビームを受けると、結晶質(反射)状態からアモルファス(非結晶)状態に変化します。このような変化は、可逆性があるので、CD-RWディスクは、消去と再使用が可能です。録音後、トラックは消去できます。録音が完了し「ファイナライズ」が終了した後は、CD-RWディスクは、完全に消去するかアンファイナライズしないと、再使用できません。「ファイナライズ」したCD-RWディスクは、CD-RW互換のCDプレーヤーまたはCDレコーダーで再生できます。
CD-R、CD-RWディスクは、オレンジブックパートII、IIIでフォーマットが規定され、それぞれが互換性を保つように作られています。しかし、組み合わせによっては、正しく記録または再生ができない場合があります。

本機を使って信号をCD-R、CD-RWディスクに録音するときは、必ず下記のマークおよび表示のあるディスク(民生用途向けディスク)を使用してください。他のディスク(例、プロフェショナル用途向けディスク)には録音できません。



民生向けまたは
民生用途向け





民生向けまたは
民生用途向け



"FOR CONSUMER"(民生向け)または"FOR CONSUMER USE"(民生用途向け)のマークのあるディスクを使用し、音楽を個人用途用に録音できます。ただし、個人用途用以外の目的にディスクを使用しようとする場合は、必ず事前に著作権所有者の許可を得てください。

このCDレコーダーはまた、事前録音済みCD、およびCD-Extraのような"mixed"(「ミックスされた」)CDのオーディオ・トラックも再生できます。

日常的に使用すると、ごく簡単に自分のCDを作成できるようになります。しかしながら、初めてCDを作成するときは、本書の説明に従って消去可能デジタル・オーディオCD(CD-RW)を使用することをお勧めします。

尚、本機では、プロフェッショナル用途向けのディスクを再生することはできますが、録音はできません。民生向けのディスクは録音、再生ともに可能です。

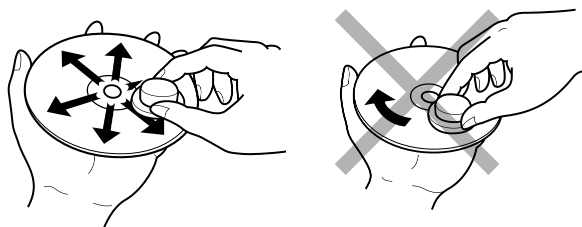
重　要
適用される著作権法令により、放送および録音など著作権によって保護された音源を、許可なく複製すると犯罪になります。このような目的で本機を使用しないでください。

SCMSについて
本機は、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント)に準拠しています。コピー禁止のデジタル音源からデジタル接続で録音したメディア(CD-R、CD-RW、 MD、DAT等)から、再びデジタル複製をすることはできません。

CD-R、CD-RWについて

ディスクの取扱い方（CD、CD-R、CD-RW）

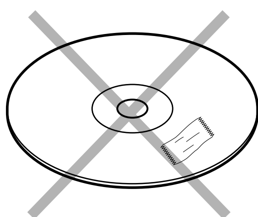
- ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。
- ディスクの表面はいつもきれいに
  ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。



※ 従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、ディスク表面に悪影響を与えますので使用しないでください。

ディスクのレーベル面についてのご注意。

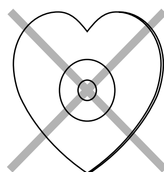
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

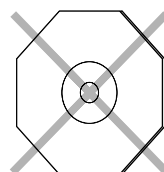


- CD-Rの印刷面に何か書き込むときは、柔らかいフェルトペンを使用してください。けっして先端の硬いペン（ボールペン等）は、使用しないでください。録音データが破壊される恐れがあります。

特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。





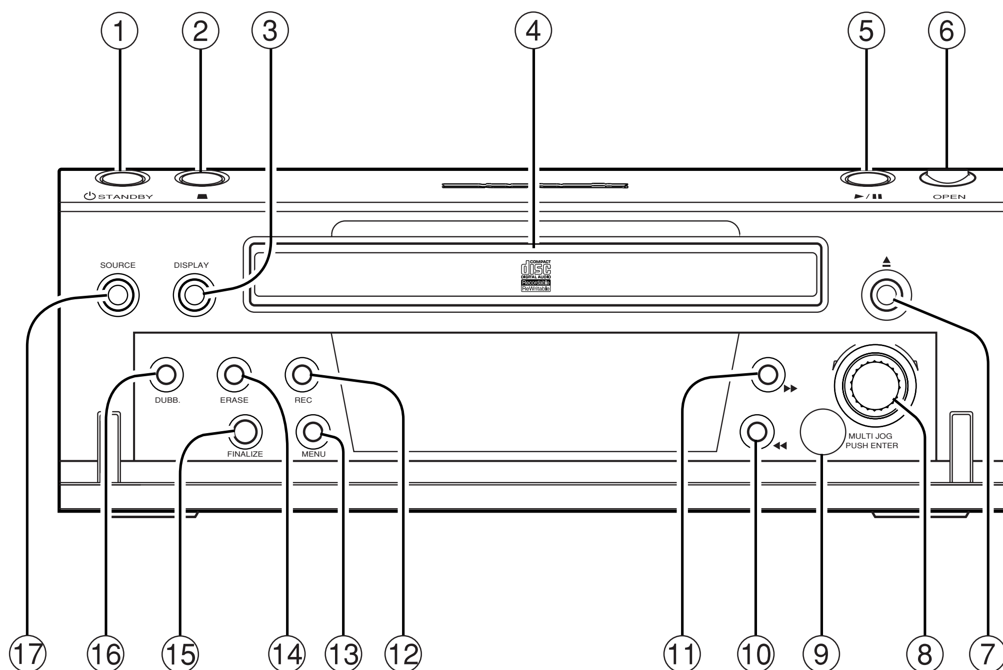
ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

ディスクは専用ケースに入れて正しく保管しましょう。

各部の名称と動作

フロントパネル



① ⏻STANDBY（スタンバイ）ボタン・表示インジケーター

- 押すと電源が入り、ボタンが緑色に点灯します。もう一度押すとスタンバイ状態になり、ボタンが赤色に点灯します。

② ■（ストップ）ボタン

- 再生／録音、各種操作を停止します。

③ DISPLAYボタン

- ディスプレイの表示を切り替えます。

④ ディスクトレー

- ⏏ (イジェクト) ボタンを押して、このディスクトレーを開き、ディスクを乗せてください。。

⑤ ►/❚❚（再生/ポーズ）ボタン

- ディスクを再生します。
- 録音待機状態のときに、押すと録音を開始します。
- 再生中／録音中に押すと一時停止します。もう一度押すと、一時停止が解除されます。

⑥ OPEN ボタン

- 押すとフロントドアが前方向に開きます。

⑦ ⏏（ディスクトレー開閉）ボタン

- 押すとディスクトレーが前方向に開きます。再度押すと、ディスクトレーが閉じます。

フロントパネル

⑧ マルチジョグダイヤル
- 再生中の曲番を前後にスキップさせます。
- ダイヤルを回して再生したい曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。
- 編集モード時に編集機能を選んだり、タイトル編集のときに文字を選びます。
- 録音中、録音一時停止のとき回すと録音レベルを選べます。
- ダイヤルを押すと、各種の設定内容を確定します。

⑨ リモートコントロールセンサー
- 付属のリモコンをこの受光部に向けて操作してください。

⑩ ◀◀(早戻し)ボタン
- 再生中の曲を早戻しします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

⑪ ▶▶(早送り)ボタン
- 再生中の曲を早送りします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

⑫ REC ボタン
- 録音可能なディスクが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。

⑬ MENUボタン
- 押すと編集モードに切り替わります。

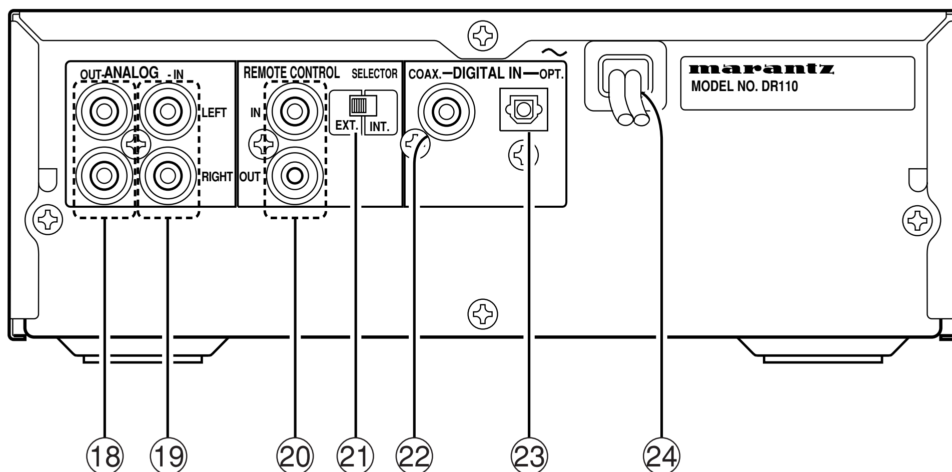
⑭ ERASE ボタン
- CD-RWディスクのトラックまたはディスク全体を消去します。

⑮ FINALIZE ボタン
- CD-R(W)ディスクのファイナライズを行います。

⑯ DUBB. ボタン (CDシンクロダビング機能)
- CDダビングを行います。(当社レシーバーSR110、CDプレイヤーCD110と接続している場合)

⑰ SOURCE ボタン
- 録音するときの入力信号を切り替えます。
  OPTICAL ：光デジタル入力
  COAX ：同軸デジタル入力
  ANALOG ：アナログ入力(ステレオ録音)

リアパネル



⑱　ANALOG OUT

- ディスクのアナログ再生信号が出力されます。

⑲　ANALOG IN

- 外部機器からのアナログ信号を入力する端子です。

⑳　REMOTE CONTROL（リモコン端子）

当社レシーバー SR110 のリモコン端子とリモートコントロールケーブルで接続すると､以下の機能が使用できます。

- システム機能（CDダビング機能など）が使用できます。
- レシーバーSR110のPOWERボタンを押すと、本機の電源のスタンバイ/オンも連動します。（リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ）
- 本機の再生ボタンを押すと、レシーバーSR110の入力セレクターは自動的に｢CDR｣に切り替わり、再生を始めます。（リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ）

㉑　SELECTOR (リモコンセレクター)

- 当社レシーバーSR110のリモートコントロール端子と本機のリモートコントロール端子を接続した場合は"EXT."側にしてください。
- その他の場合（DR110単独でお使いの場合）は"INT."側にしてください。

㉒　COAX.（同軸デジタル入力端子）

- 同軸デジタル信号を入力する端子です。
- 本機は同軸デジタル出力端子つきのオーディオ機器などと接続してデジタル録音ができます。

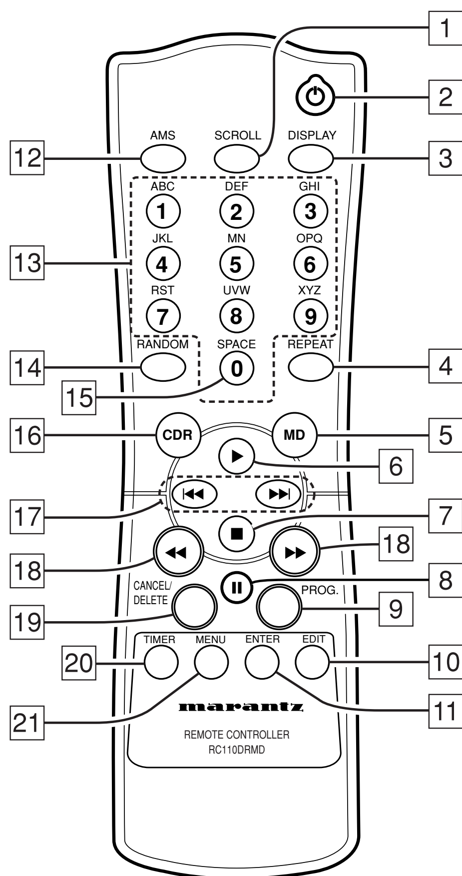
㉓　OPT. (光デジタル入力端子)

- 光デジタル信号を入力する端子です。
- 本機は光デジタル出力端子つきのCDプレーヤーやDAT (デジタルオーディオテープデッキ)などと接続してデジタル録音ができます。

㉔　電源コード

- 接続がすべて終了したら、家庭用電源コンセントに接続してください。

リモコン



1 SCROLL ボタン
- ディスク名や曲名がついている場合は、このボタンを押すとディスク名、曲名をスクロールして表示します。もう一度押すと元の表示に戻ります。

2 ⏻（スタンバイ）ボタン
- 本機電源のスタンバイ／オンを切り替えます。ただしシステム機能でご使用される場合、当社レシーバーSR110のパワーボタンに連動するために、このボタンは無効となります。

3 DISPLAYボタン
- ディスプレイの表示を切り替えます。

4 REPEATボタン
- ディスク全曲または1曲をリピート再生するときに使用します。

5 MD ボタン
- リモコンのボタン機能がMD用に切り替ります。
  CDレコーダーをリモコン操作する場合は押さないでください。

6 ►（再生）ボタン
- ディスクを再生します。
- 録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

7 ■（ストップ）ボタン
- 再生、録音、各種操作を停止するときに使用します。

8 ❚❚（ポーズ）ボタン
- 再生中／録音中に押すと一時停止します。一時停止を解除するには►（再生）ボタンを押します。

9 PROGRAMボタン
- 聞きたい曲を順にプログラムできるプログラムモードに切り替えます。

リモコン

⑩ EDITボタン
- 押すと編集モードに切り替わります。
- 編集内容を確定する場合にも使用します。

⑪ ENTERボタン
- 各種の編集内容を確定するときに使用します。

⑫ AMS(オートミュージックスキャン)ボタン
- 押すと自動的に、曲の頭だけを10秒間づつ再生します。

⑬ 数字キー
- 曲番を選択するときに使用します。
- タイトル編集のときに文字を選びます。

⑭ RANDOM(ランダム)ボタン
- 曲をランダム再生するときに使用します。

⑮ 0 / SPACE(スペース)ボタン
- タイトル編集の文字入力のときに、スペース(空白)を入力します。

⑯ CDR ボタン
- リモコンのボタン機能がCDレコーダー用に切り替ります。
- リモコンで操作する場合、必ず最初にこのボタンを押してください。

⑰ |◀◀ ／ ▶▶|(スキップ)ボタン
- 再生中の曲番を前後にスキップさせます。
- このボタンを押して再生したい曲番を選ぶと、自動で演奏が始まります。
- 編集モード時に編集機能を選んだり、タイトル編集のときに文字を選びます。
- 録音中、録音一時停止のとき押すと録音レベルを選べます。

⑱ ◀◀ ／ ▶▶(早送り／早戻し)ボタン
- 再生中の曲を早送り／早戻しします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

⑲ CANCEL/DELETEボタン
- 各編集内容、プログラム設定内容の取り消しに使用します。

⑳ TIMERボタン
- 3秒以上押すと、時間設定モードに切り替わります。
- 1回押すと、タイマー再生設定モードに切り替わります。
- 2回押すとタイマー再生設定のON/OFF設定モードに切り替わります。
- 当社レシーバーSR110とシステムとしてお使いになる場合、このボタンは無効となります。SR110のシステムタイマーが有効になります。

㉑ MENUボタン
- 押すと編集モードに切り替わります。

リモコン

リモコンの使用方法

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たっていると、リモコンが操作できない場合があります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

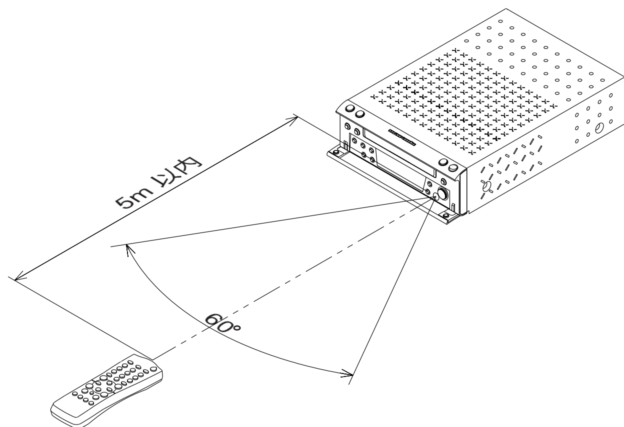
電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

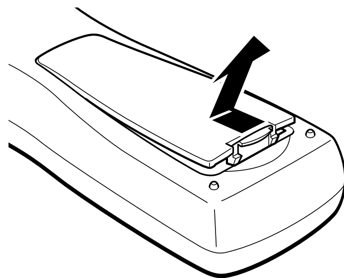
リモコン操作範囲

リモコンは 下図のように本機より 5m 以内、リモコン受光部より左右 60 ° の範囲でお使いください。

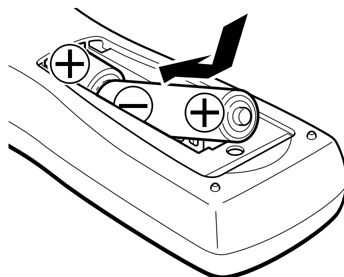


電池の入れ方

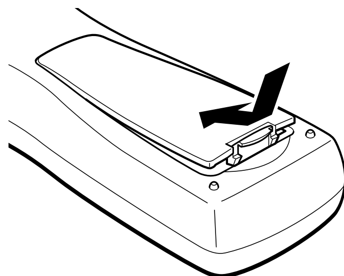
1. **リモコン裏面の電池フタのツマミを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。**



2. **新しい単3形乾電池2本を、極性表示(＋：プラスと－：マイナスの向き)に注意し、表示通りに正しくセットしてください。**



3. **電池フタを元の位置にセットし、矢印の方向へ押して閉めます。**



⚠注 意

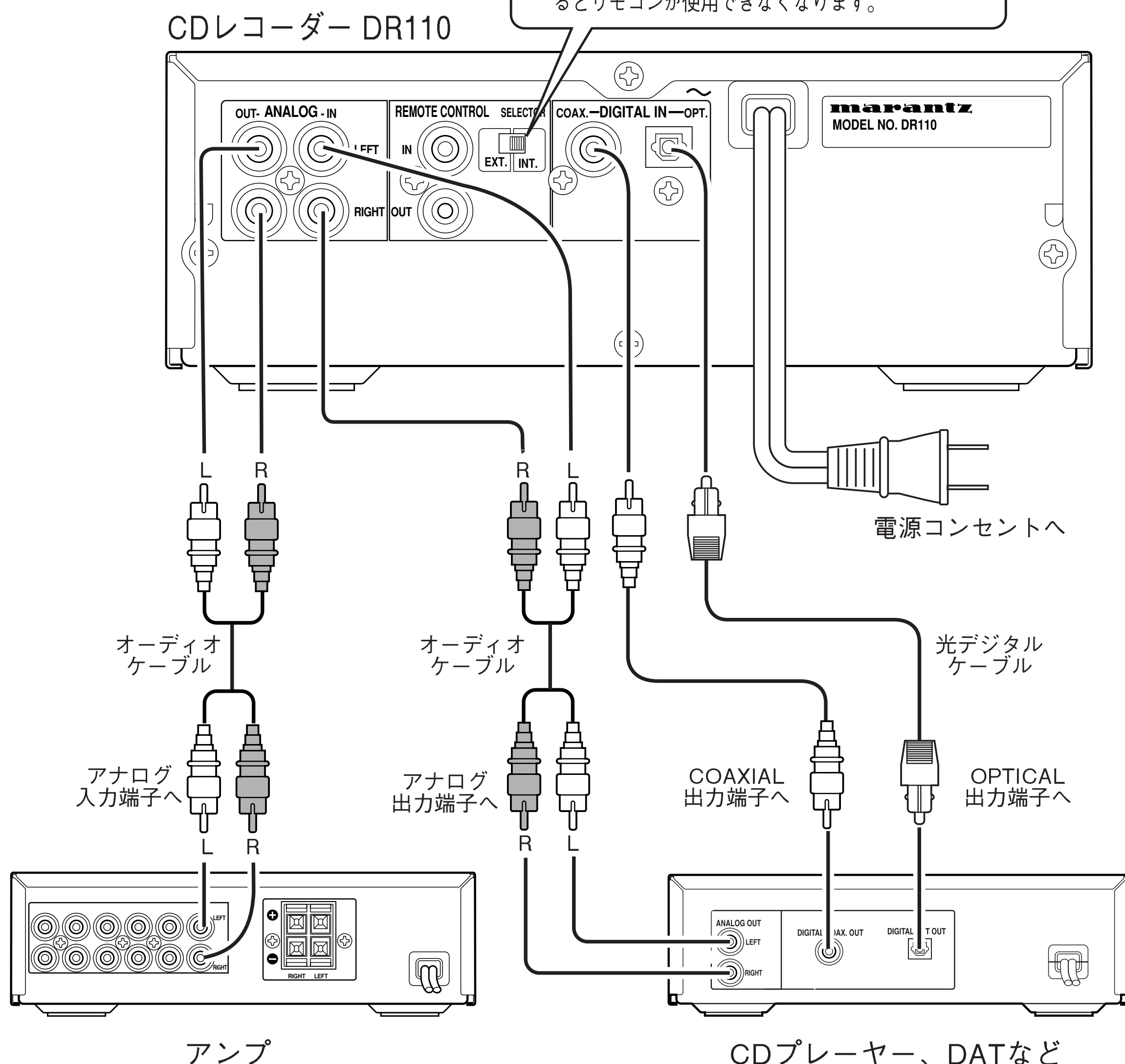
古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。腐食の原因となることがあります。

接続方法

接続時の注意

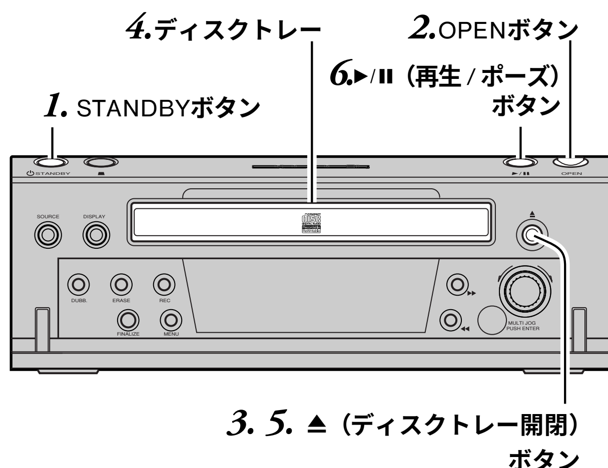
- **交流 100 ボルト以外の電圧を使用しないでください。火災、感電の原因になります。**
- **電源の抜き差しは必ずプラグを持って行なってください。**
- **全ての接続が終わってから電源コードを差し込んでください。**
- **オーディオケーブルのプラグは、L（白）、R（赤）を正しく接続してください。**
- **光デジタルケーブルは奥までしっかり差し込んでください。**
- **光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップを外してご使用ください。また、使用しない場合はほこりなどが入らないようにキャップは付けておいてください。**
- **アンプや CD プレーヤー等と接続する際は機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**
- **当社レシーバー SR110、CD プレーヤー CD110 等とシステム接続する際は、レシーバー SR110 の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**
- **本機を SR110 の上または下になるような設置は避けてください。**

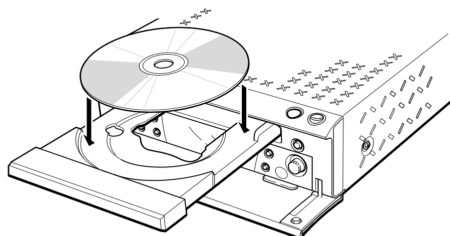
他オーディオ機器との接続

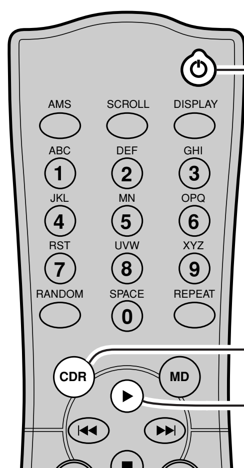


ディスクを聞く

1曲目から聞く







1. **STANDBY（スタンバイ）ボタンを押して電源を入れます。**

- リモコンで操作する場合は、STANDBYボタンを押す前に、CDRボタンを押します。
- 当社のレシーバーSR110とシステム接続されているときに、本機及びリモコンで電源を入れるとシステムとして働きません。SR110のSTANDBYボタンを押して電源を入れてください。

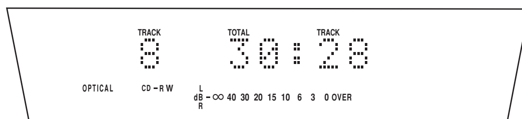
2. **OPENボタンを押して、フロントドアを開きます。**

3. **▲ ボタンを押し、ディスクトレーを開きます。**

4. **レーベル面を上にして、ディスク（CD、CD-RまたはCD-RW）をディスクトレーの上に乗せます。**

- 本機は、オーディオディスクだけを受け付けます。オーディオディスク以外（コンピューター用のディスク等）は挿入しないでください。
- ディスクには、ほこりの粒子や傷がないことをよく確認してください。

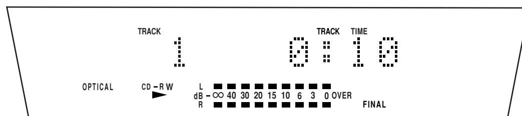
5. **▲ ボタンを押し、ディスクトレーを閉めます。**



- CDテキストが入っている場合には、ディスクのタイトルがスクロールします。
- 空または一部分録音したCD-RまたはファイナライズしていないCD-RWを挿入すると、本機は、最適の録音を行うためにディスクの測定を行います。この作業の間ディスプレイはまず "Opc Writing "を、次にトラック数を表示します。測定には約25秒かかります。
- 本機内の温度変化により、再度 "Opc Writing "が表示されることがあります。この場合は、本機の故障やディスクの不良ではありません。

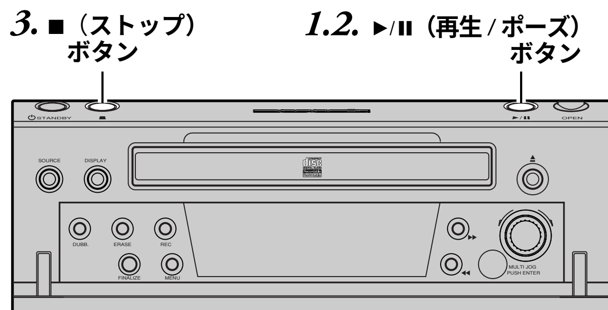
6. **本機の►/II ボタンまたはリモコンの►ボタンを押します。**

- 一曲目から再生が始まります。



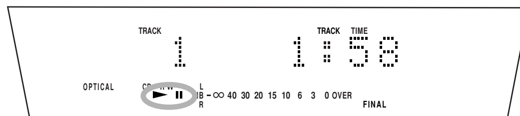
1曲目から聞く

3. ■（ストップ）ボタン　1.2. ►/❚❚（再生 / ポーズ）ボタン



再生を一時停止するには

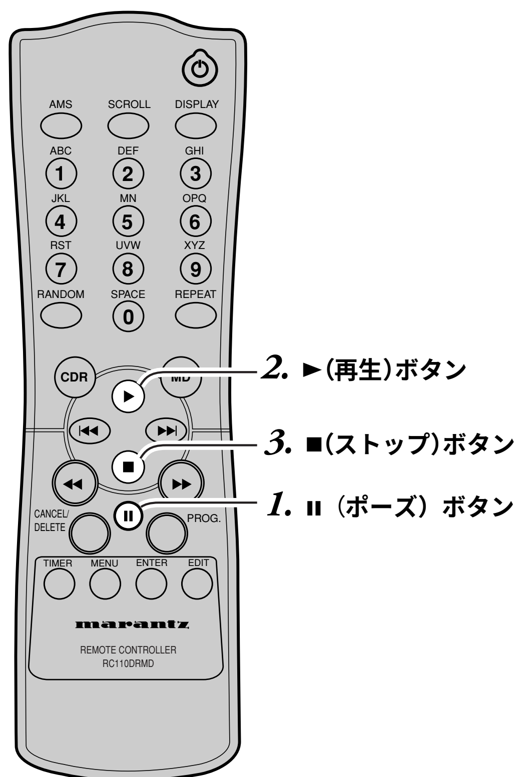
1. ❚❚ ボタンを押します。



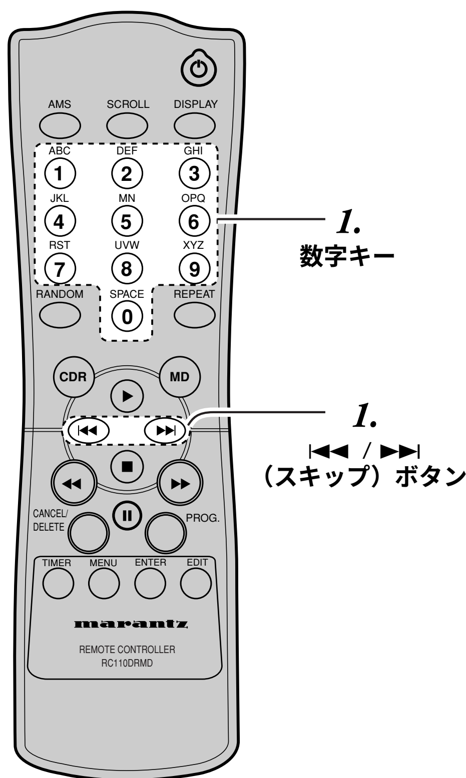
● ►と❚❚が表示されます。

2. 再び再生を始めたいときは、本機の►/❚❚ ボタンまたはリモコンの►ボタンを押してください。

3. 再生を停止するには、■ ボタンを押します。



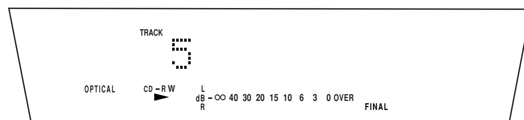
聞きたい曲から再生するには



リモコンを使って曲を選ぶ

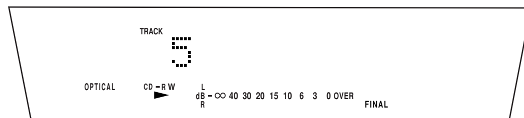
1. **リモコンの数字キーか|◀◀ ▶▶|ボタンを押して曲番を選びます。**
曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。

- スキップボタンは、希望する曲番になるまで続けて押してください。



ジョグダイヤルを使って曲を選ぶ

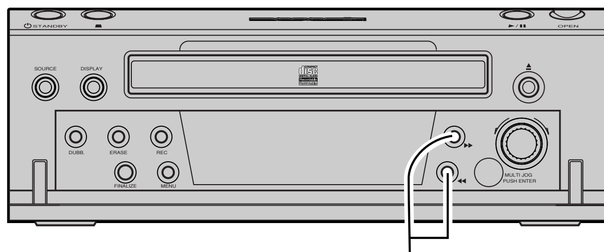
1. **ジョグダイヤルを回して曲番を選びます。**
曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。



- 再生中の曲を中止して後の曲を選ぶには、ジョグダイヤルを右に回します。
- 再生中の曲をもう一度頭から聞いたり、前の曲を選ぶには、ジョグダイヤルを左に回します。
- プログラムモードでは、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。



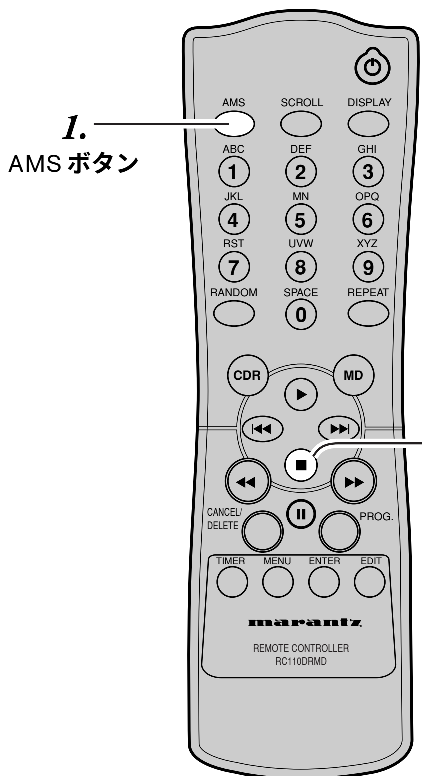
聞きたい部分を探すには



曲を聞きながら探す（再生中）

1. **再生中に◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押し続けます。**

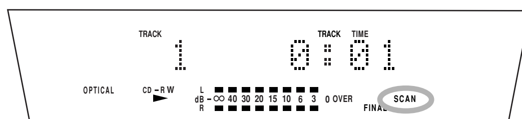
2. **聞きたい部分が見つかったら指をはなしてください。**



AMS（オートミュージックスキャン）再生

聞きたい曲の頭だけを10秒間ずつ再生します。（リモコンのみの操作です。）

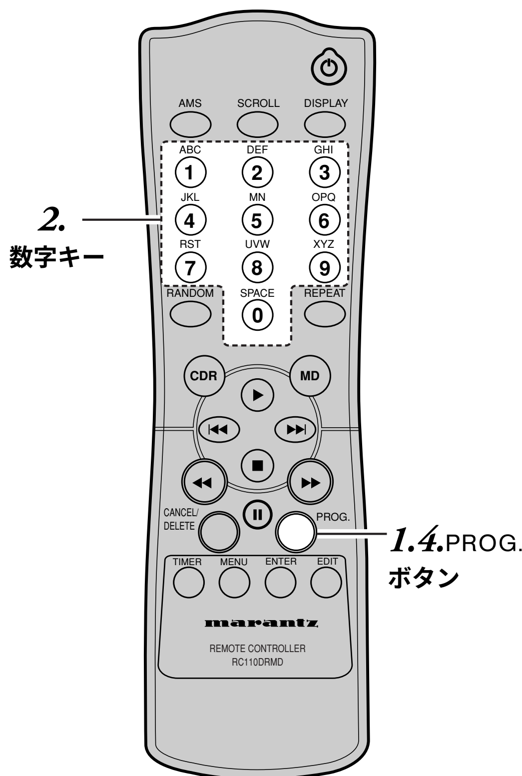
1. **リモコンのAMSボタンを押します。**

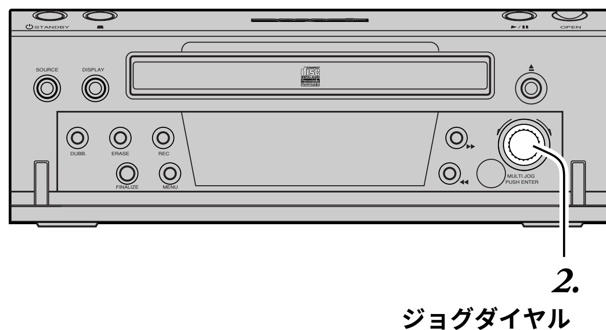


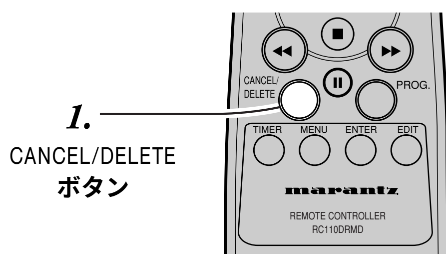
- SCANが表示されます。
- 曲の頭だけを10秒間ずつ再生します。
- 再生したい曲のところでリモコンのAMSボタンをもう一度押すと、その曲から再生を始めます。
- ディスク内のすべての曲を10秒間ずつ再生すると、自動的に停止します。

2. **再生を停止するには、■ ボタンを押します。**

プログラム再生



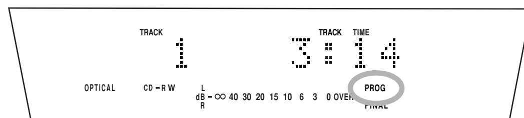




聞きたい曲を選び、順にプログラムして再生することができます。プログラム曲数は30曲までです。

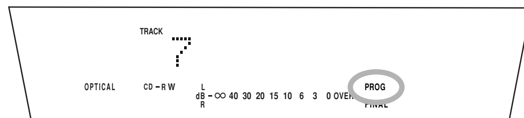
曲をプログラムするには

1. **停止中にPROG.ボタンを押して、プログラムモードに切り替えます。**



- PROGが表示されます
- プログラムモードへの切り替えは、リモコンのみの操作です。
- もう一度PROG.ボタンを押すと、プログラムモードは解除されます。

2. **聞きたい曲を順に、リモコンの数字キーで選びます。または本機のジョグダイヤルを回して曲番を表示させ、PROG.ボタンを押して選びます。**



- 表示部に曲番とプログラム番号が表示され、プログラム番号が点滅します。点滅が終わるとプログラムが確定されます。

3. **複数の曲をプログラムする場合は、手順2の操作をくり返してください。**

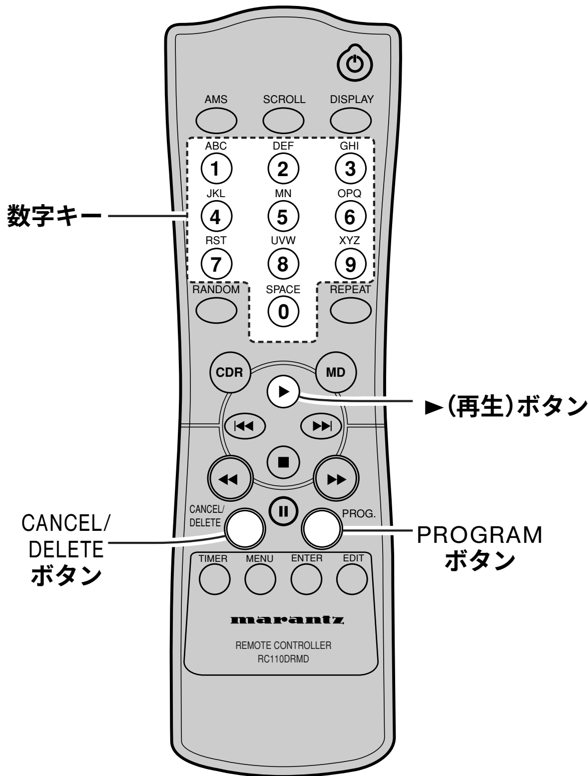
4. **プログラムを終了する場合は、■ ボタンまたはPROG.ボタンを押してください。**

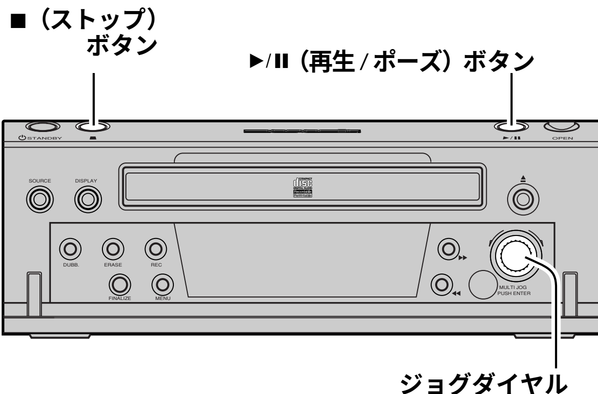
プログラム曲を取り消すには

1. **ディスクの停止中にCANCEL/DELETEボタンを押します。**

- プログラムされた最後の曲から取り消されます。
- プログラム曲の取り消しは、リモコンのみの操作です。
- ディスクトレーを開くと、プログラムは解除されます。

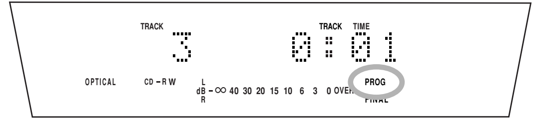
プログラム再生





プログラム曲を聞くには

1. **► 再生ボタンを押します。**

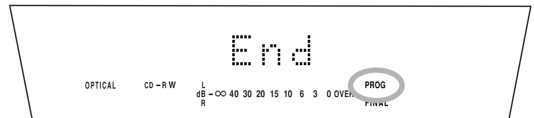


- プログラムした順番に再生されます。

プログラム内容を確認するには

1. **停止中にPROG.ボタンを続けて押します。**

- プログラムされた順番に内容を確認できます。
- プログラム内容の確認は、リモコンのみの操作です。
- 最後のプログラム曲を確認した後、PROG.ボタンを押すと"End"が表示されます。



プログラムに曲を追加するには

1. **■ ボタンを押して、プログラムモードを停止します。**

2. **聞きたい曲番をリモコンの数字キーで選びます。または本機のジョグダイヤルを回して曲番を表示させます。**

3 PROG.**ボタンを押して選びます。**

- プログラムの最後にプログラム曲が追加されます。

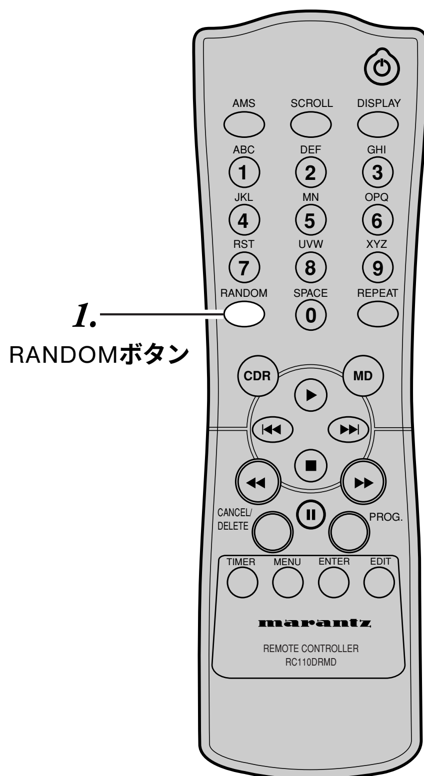
プログラム再生をやめるには

1. **リモコンの**CANCEL/DELETE**ボタンを３秒以上押すと、プログラムされた曲を全て取り消すことができます。**

2. **リモコンの**CANCEL/DELETE**ボタンを１度押す度に、プログラムされた曲を最後から順に取り消すことができます。**

- プログラム曲の取り消しは、リモコンのみの操作です。
- ディスクトレーを開くと、プログラムは解除されます。

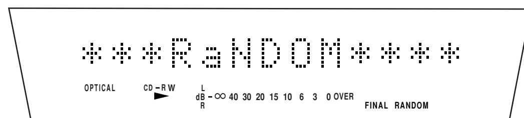
ランダム再生／リピート再生



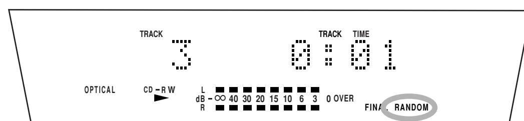
順不同（ランダム）に再生するには

録音されている曲をランダムに再生します。（リモコンのみの操作です。）

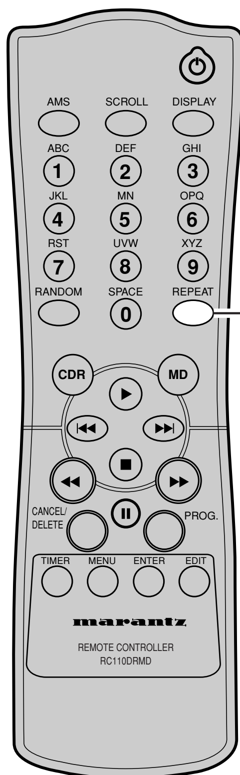
1. **再生中または停止中にリモコンのRANDOMボタンを押すと、ランダム再生します。**



（ランダム再生の選曲中）



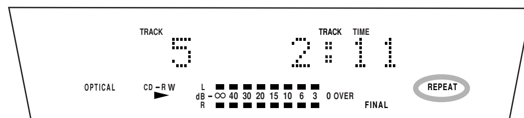
- ランダム再生中に、リモコンの ▶▶| ボタンを押すと次の曲がランダムに選択されます。また |◀◀ ボタンを押すと現在の曲の頭に戻ります。ランダム再生が終わった曲には戻れません。
- プログラムモードではランダム再生はできません。



繰り返し（リピート）再生するには

ディスク全曲または1曲をリピートして再生します。（リモコンのみの操作です。）

1. **リモコンのREPEATボタンを繰り返し押します。**



- REPEAT： 現在の曲が繰り返し再生します。
- REPEAT ALL： ディスクまたはプログラムが繰り返し再生されます。

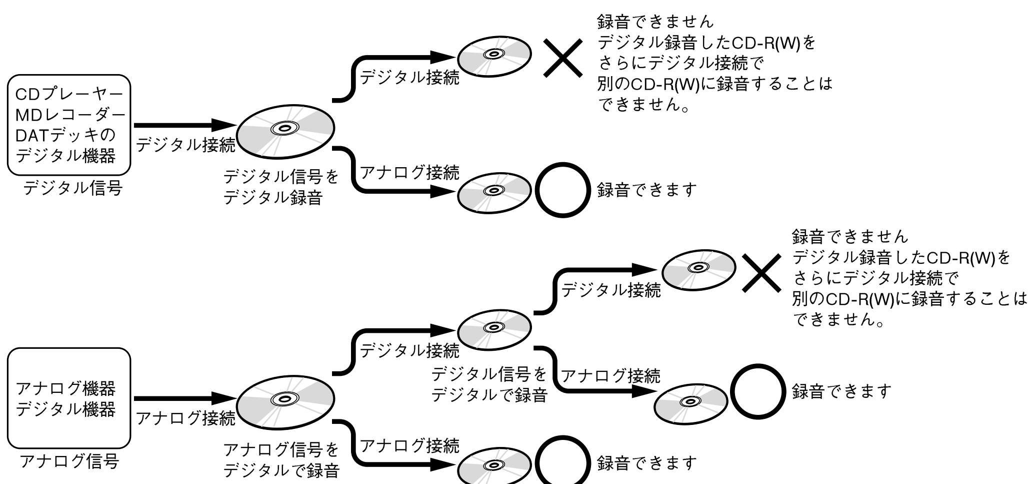
2. **リピート再生を解除するには、REPEAT表示が消えるまでREPEATボタンを繰り返し押します。**

録音する

録音する前に

シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）

デジタル入力で録音したCD-R(W)をさらに別のCD-R(W)やMDなどにデジタル録音することはできません。本機は「シリアルコピーマネージメントシステム」の規格に準拠したオーディオ機器です。SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）は各種オーディオ機器の間でデジタルコピーを１回のみと規制したものです。



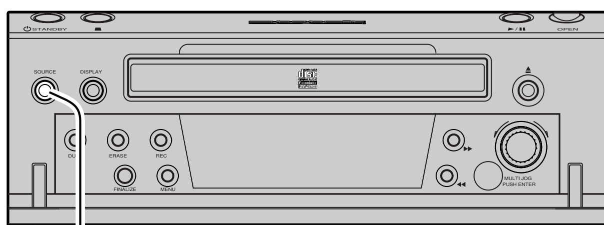
入力モードの設定

録音するためには、まず入力モードを設定します。

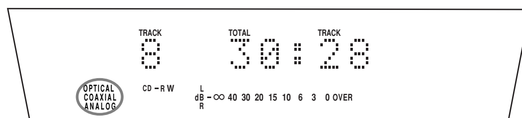
CD-R(W)に録音する入力信号（ソース）の種類を選びます。

1. **本機のSOURCEボタンを押して、入力ソースを選びます。**

- ANALOG：　オーディオピンコードからの入力信号をアナログ録音します。
- OPTICAL：　オーディオ用光デジタルケーブルからの入力信号をデジタル録音します。
- COAXIAL：　オーディオ用同軸デジタルケーブルからの入力信号をデジタル録音します。

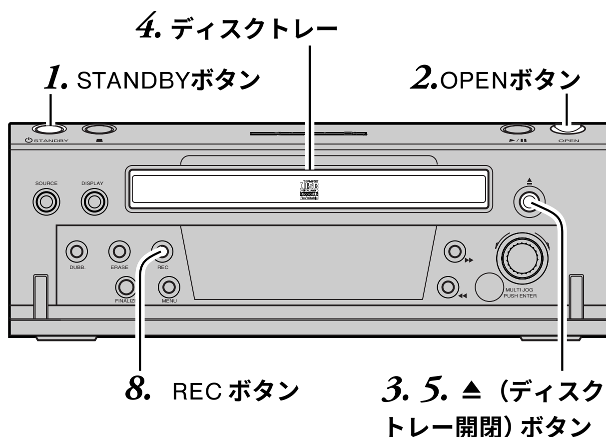


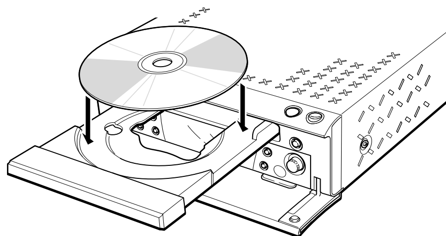
1. SOURCE **ボタン**



注：上記イラストのように同時に、入力モードが表示されることはありません。

録音のしかた





1. STANDBY（**スタンバイ）ボタンを押します。**

2. OPEN**ボタンを押して、フロントドアを開きます。**

3. **▲ ボタンを押し、ディスクトレーを開きます。**

4. **レーベル面を上にして、ディスク（**CD-R**または**CD-RW**）をディスクトレーの上に乗せます。**

- 本機は、オーディオディスクだけを受け付けます。オーディオディスク以外（コンピューター用のディスク等）は挿入しないでください。
- ディスクには、ほこりの粒子や傷がないことをよく確認してください。

5. **▲ ボタンを押し、ディスクトレーを閉めます。**

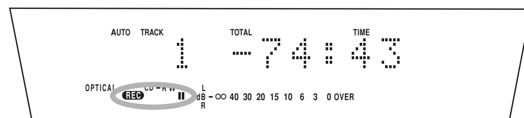
- ファイナライズしたCD-RWをお使いになるときは、まずディスクをアンファイナライズしてください。

6. **「オートトラックインクリメント機能」の設定を行います。（**28**ページ参照）**

- 本機のオートトラックインクリメント機能をオンにすると曲に合わせて自動的に曲番号を付けていきます。
  ただし、自動的に曲番号を付けていくのは、デジタル音源または曲間が2.7秒以上のアナログ音源です。
  この機能をオフにすると、曲番号のある音源、曲間に十分な時間がある音源でも、1つの曲として録音されます。
  初期状態では、この機能はオンになっています。

7. **「録音前の設定」を行います。（**17**ページ参照）**

8. REC**ボタンを押し、録音待機状態にします。**

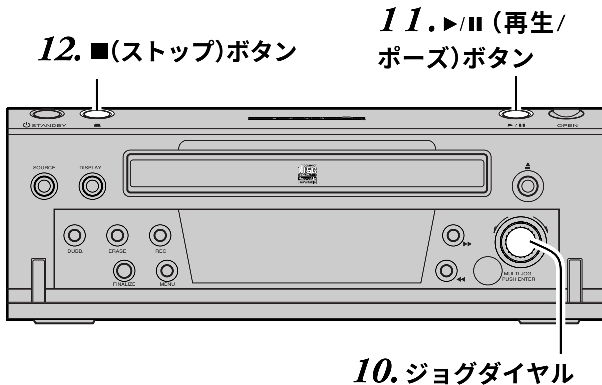


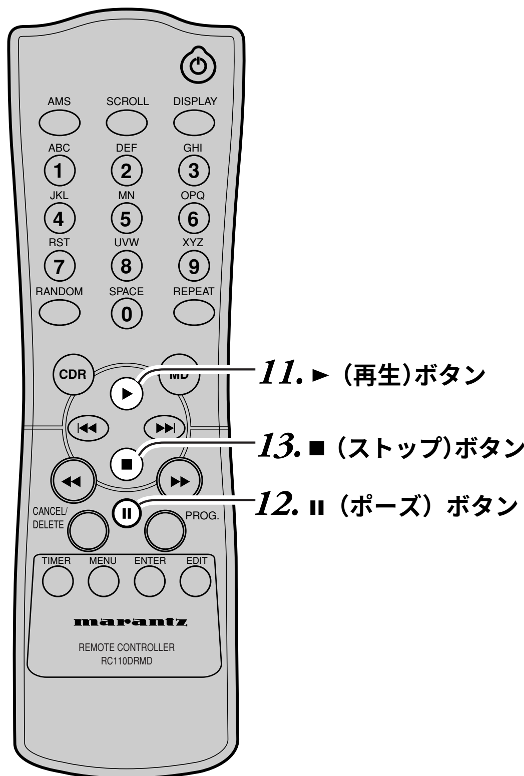
- 録音可能時間が表示されます。

9. **録音レベルを調整するために、録音するソースを再生します。**

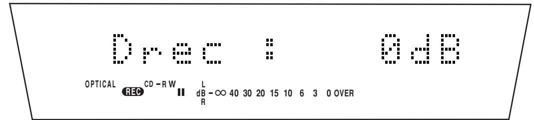
10. **ジョグダイヤルを回して、録音レベルを調整します。**

録音のしかた



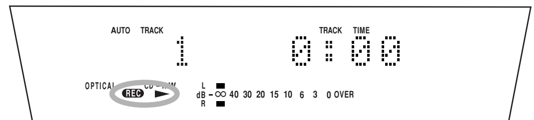


● 録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように調整してください。



● デジタル録音及びアナログ録音のレベルは、以下の範囲で変更できます。
Drec（デジタル録音）：+6〜 -63 dB
（初期値 0 dB）
Arec（アナログ録音）： 0〜 -63 dB
（初期値 -18 dB）
● 録音のレベル設定を、デジタル録音では0db以上、アナログ録音では-18db以上、にすると音声が歪んで録音されることがあります。
● 録音レベルを調整した後は、録音するソースの再生を止めます。
● 録音レベルは記憶されません。次回の録音時は再度レベルの設定を行ってください。

11. ►/IIボタンまたはリモコンの►ボタンを押し録音を始めます。またソース側の再生ボタンを押して、ソースの再生を始めます。



● REC、►、曲番号および録音時間が表示されます。
● 音源が停止したりして、無音部分が20秒以上続くと、本機は自動的に録音を停止します。
● DISPLAYボタンを押すと、残りの録音可能時間が表示されます。
● 録音を始めて３秒以内に、■ボタンを押すと録音は行われません。
● 録音中は電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。ディスクが録音できなくなることがあります。

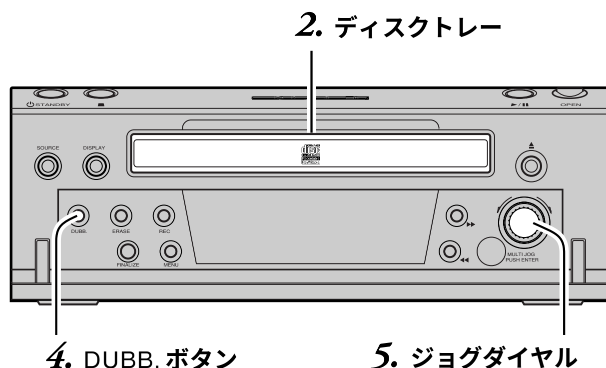
12. 録音を一時停止するには、►/IIボタンまたはリモコンのIIボタンを押します。

● 再度、►/IIボタンまたはリモコンの►ボタンを押すと録音を再開します。
● オートトラックインクリメント機能（28ページ参照）がオン（初期設定はオン）になっていると録音再開時に曲番号が１つ増えます。

13. 録音を止めるには■ボタンを押します。

● CD-Rディスクを他のCDプレーヤーで再生する時は、ディスクのファイナライズを行ってください。
● CD-RWディスクはファイナライズを行っても、CD-RWディスク対応のCDプレーヤー、CDレコーダーでしか再生できません。

CDシンクロダビング録音



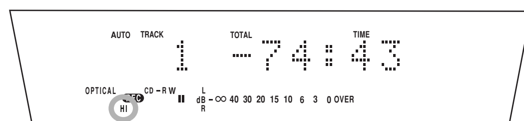
当社レシーバー SR110 及び CD プレーヤー CD110 と本機をリモートコントロールケーブルで接続すると、CD ダビング録音が可能になります。

1. **CDプレーヤーCD110にCDをセットして再生の準備をします。**
- CDの曲順を変える場合は、CDプレーヤーCD110でプログラムしてください。

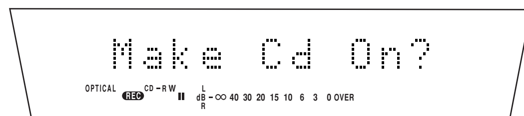
2. **ディスク(CD-RまたはCD-RW)を入れます。**

3. **「録音前の設定」を行います。(17ページ参照)**

4. **本機のDUBB.ボタンを押します。**
- 自動でCDを再生し、同時にダビング録音待機状態になります。
- DUBB.ボタンを続けて2回押すと、2倍速でダビング録音ができます。このとき、表示部に"HI"が表示されます。



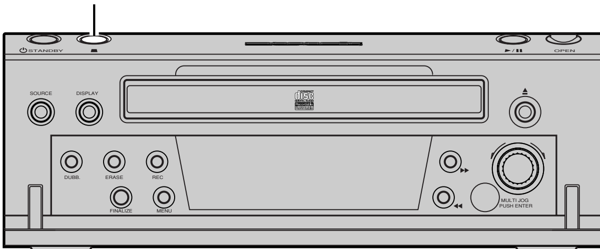
5. **ジョグダイヤルを回して、ファイナライズモードを選択します。**

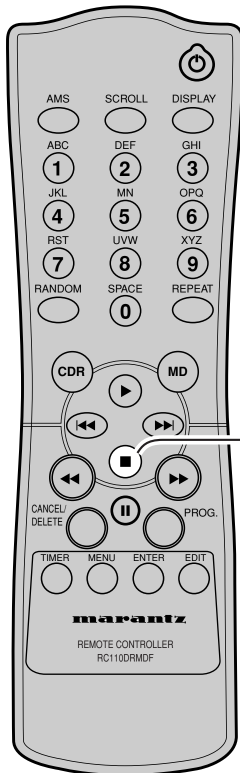


- Make Cd On?を選んだときは、ソースが停止すると、ファイナライズを開始します。
- Make Cd Off?を選んだときは、自動的にファイナライズは行われません。
  CD-R(W)ディスクを他のCDプレーヤーまたはCD-RWディスク対応のCDプレーヤー、CDレコーダーで再生する時は、ディスクのファイナライズを行ってください。

CDシンクロダビング録音

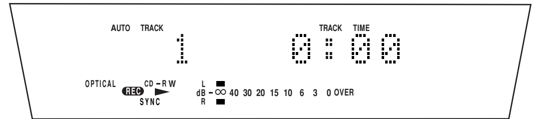
7. ■(ストップ)ボタン





■ (ストップ)ボタン

6. **ソース側の再生ボタンを押して、ソースの再生を始めます。**



- 録音が自動的に始まります。
- CDシンクロダビング録音では録音レベルの調整はできません。
- CDプレーヤーの演奏が全て終わり停止すると、録音も停止します。
- 録音を始めて３秒以内に、■ ボタンを押すと録音は行われません。
- 音源が停止したりして、無音部分が20秒以上続くと、本機は自動的に録音を停止します。
- DISPLAYボタンを押すと、残りの録音可能時間が表示されます。
- 録音中は電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。ディスクが録音できなくなることがあります。

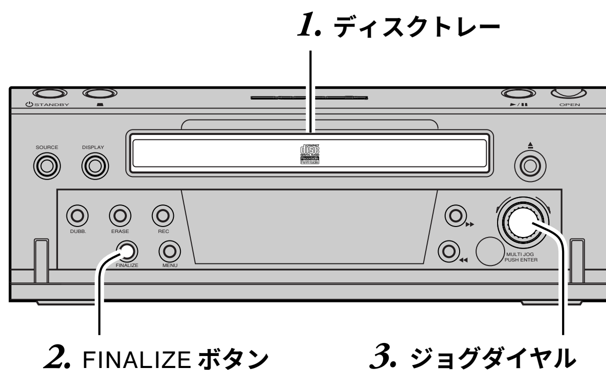
7. **録音を止めるには■ボタンを押します。**

- 手順*5.*でMake Cd Offを選んだときは、CD-Rディスクを他のCDプレーヤーで再生するには、ディスクのファイナライズを行ってください。
- CD-RWディスクはファイナライズを行っても、CD-RWディスク対応のCDプレーヤー、CDレコーダーでしか再生できません。

注意

当社レシーバーSR110及びCDプレーヤーCD110と本機をシステム接続して、CDシンクロダビング中には、SR110のスタンバイボタンを押さないでください。
接続されている全ての機器の電源がスタンバイ状態になり、CDシンクロダビングが途中で終了します。このことにより、録音中のディスクが使えない状態になることがあります。

ファイナライズ/アンファイナライズ

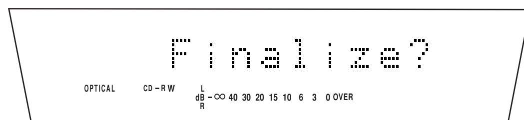


ファイナライズ

CD-R ディスクを他の一般の CD プレーヤーで再生する時は、ディスクのファイナライズを行う必要があります。CD-RW ディスクは、ファイナライズを行っても CD-RW 対応のCDプレーヤーやCDレコーダーでしか再生できません。

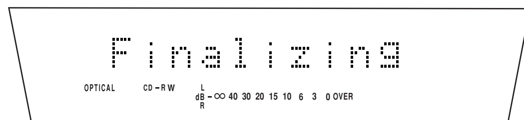
1. **録音の終わったディスク（CD-RまたはCD-RW）を入れます。**

2. **本機のFINALIZEボタンを押します。**



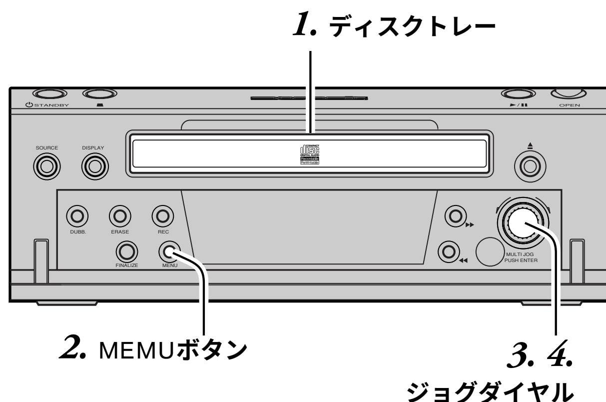
- Finalize?と表示されます。
- ファイナライズを中止するには■ボタンを押します。

3. **ジョグダイヤルを押して、ファイナライズを開始します。**



- ファイナライズ中は、Finalizingと表示されます。
- ファイナライズは、２〜４分かかります。
- ファイナライズ中は、本機の操作はできません。
- ファイナライズが終了すると、総演奏時間と曲数が表示されます。
- ファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。ディスクが使用できなくなることがあります。

ファイナライズ/アンファイナライズ

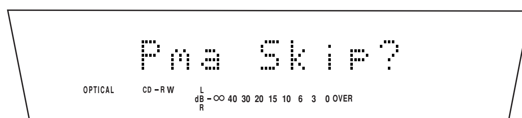


CD-RW のアンファイナライズ

ファイナライズされた CD-RW ディスクは、アンファイナライズを行うと、曲を追加して録音できます。
ただし、アンファイナライズを行うと TOC と CD-TEXT は消去されます。

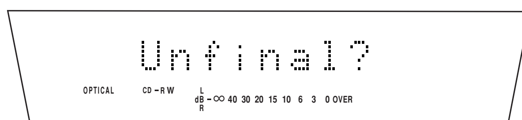
1. **ファイナライズされたCD-RWディスクを入れます。**

2. **本機のMENUボタンを押します。**

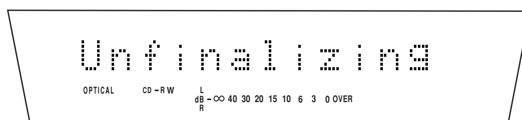


- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、Unfinalを表示させます。**



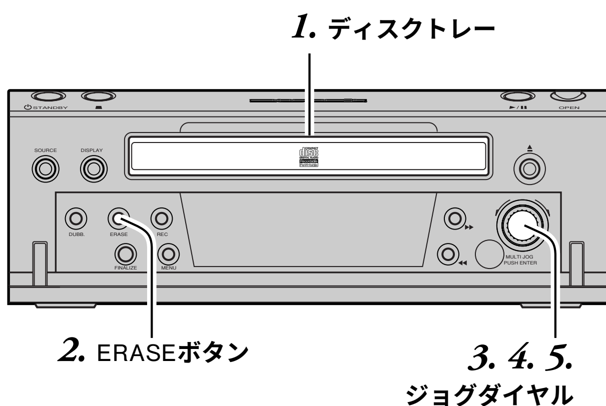
4. **ジョグダイヤルを押して、アンファイナライズを開始します。**



- アンファイナライズ中は、Unfinalizingと表示されます。
- アンファイナライズは、約1分30秒かかります。
- アンファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。ディスクが使用できなくなることがあります。

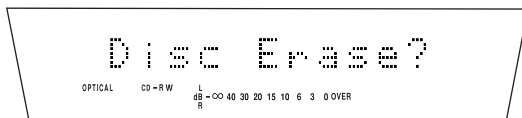
CD-RWディスクの消去

ファイナライズされていない CD-RW ディスクでは、録音された一番最後のトラック、一番最後の曲から指定した曲まで、またはディスク全体消去することができます。ファイナライズされたCD-Rディスクは消去できません。



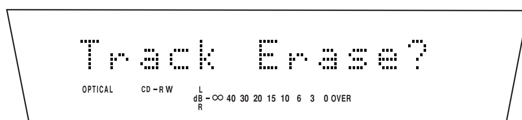
1. **ファイナライズされていないCD-RWディスクを入れます。**

2. **本機のERASEボタンを押します。**

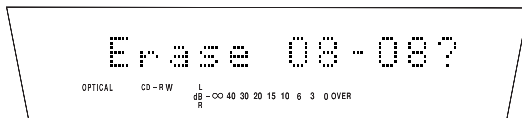


- Disc Erase?と表示されます。

3. **ディスク全体を消去する時は、手順5へ行きます。曲を消去する時は、ジョグダイヤルを回して、Track Erase?を表示させ、ジョグダイヤルを押します。**



4. **ジョグダイヤルを回し、消去する曲を選びます。**



- ジョグダイヤルを回すと、消去を始める曲が選択できます。ただし、消去は録音されている最後の曲から選んだトラックまでです。途中の曲を消去することはできません。

5. **ジョグダイヤルを押し、消去を開始します。**

- 消去を行わない場合は、■ ストップボタンを押してください。
- ファイナライズされたCD-RWディスク全体を消去しようとすると、Unfinal?と表示されます。まず、アンファイナライズを行ってください。
- ディスク全体の消去中は、Disc Eraseingと表示されます。
- 曲の消去中は、Track Eraseingと表示されます。
- ディスク全体の消去が終わると、Blank Discと表示されます。
- 曲の消去が終わると、残った曲数と総演奏時間が表示されます。

メニューモード操作について

メニューモードについて

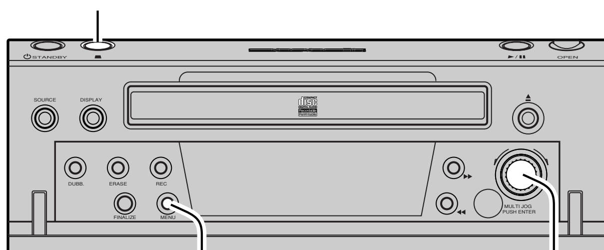
メニューモードの概略

本機のMENUボタンを押すことで、メニューモードの操作が行えます。

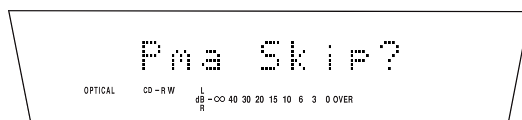
- メニューモードを使うと､ディスクや曲に名前を付けたり、消したりすることができます。
- メニューモードを使うと､本機の録音時や再生時の機能を細かく設定できます。
  変更された機能を初期（工場出荷時）状態に戻すこともできます。
  また、電源をスタンバイにしても、メニューモードは､初期状態に戻ります。

メニューモードの基本操作

メニューモードの基本操作は、本機の MENU ボタン、ジョグダイヤルを使って行います。
メニューモードは､本機の中にCD-R(W)ディスクが入っていないと操作できません。



1. **■ ボタンを押し、本機を停止状態にします。**
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**



- Pma Skip?と表示されます。
- メニューモードを途中で止める場合は、■ ボタンを押します。

3. **ジョグダイヤルを回して、希望のメニューを選びます。**
4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**
5. **ジョグダイヤルを回して、選んだメニューを変更します。**
6. **ジョグダイヤルを押し、変更した内容を決定します。**

- 内容が決定されると、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

ディスクに名前をつける

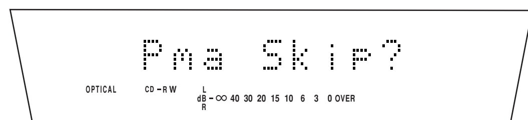
メニューモードを使って、ファイナライズする前のディスクに、ディスク名や曲名をつけることができます。CD-RW ディスクをファイナライズした場合は、アンファイナライズすれば、ディスク名や曲名をつけることができます。

ディスクに名前をつける

本機や CD-TEXT 対応の CD プレーヤー、CD レコーダーに名前をつけたディスクを入れると、その名前が表示されます。

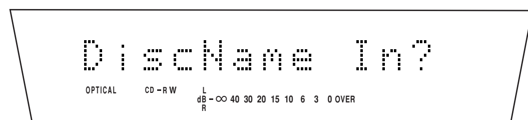
1. 本機を停止状態にします。

2. MENUボタンを押し、メニューモードにします。



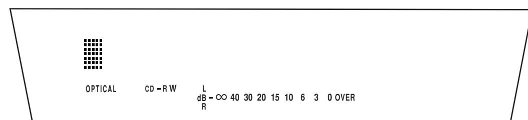
- Pma Skip?と表示されます。

3. ジョグダイヤルを回して、Disc Name In?を選びます。

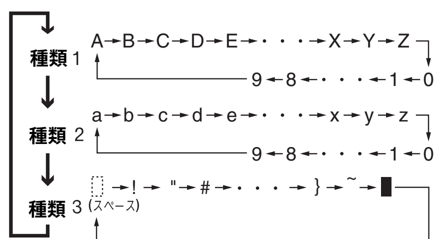


4. ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。

5. 入力する文字を選ぶために、ジョグダイヤルを回す、またはリモコンの⏮ ⏭ボタンを押す、またはリモコンの数字ボタンを押します。



- MENUボタンを押すことで、文字の種類を切り替えることができます。



- 入力できる文字は、次のようになります。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
! ” # $ % &’ ( ) * + , – . / : ; ‹ = › ? @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~ █
(スペース)

6. 選んだ文字を決定するために、ジョグダイヤルを押す、またはリモコンのENTERボタンを押します。

7. 他の文字を入力するには、手順5と6を繰り返します。

- 20文字まで入力することができます。
- リモコンの◀◀ / ▶▶ボタンを押し入力する文字の位置を変更できます。

8. ■ ストップボタンを押します。

- 入力した文字が確定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。
- ファイナライズする前に、ディスクを取り出すと、入力したディスク名は消えます。
- ファイナライズしたCD-RWディスクをアンファイナライズすると、入力したディスク名は消えます。
- ファイナライズする前に、本機をスタンバイにすると、入力したディスク名は消えます。

ディスクの名前を消す

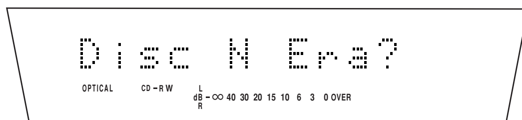
ファイナライズする前のディスクであれば、ディスク名を消すことができます。

1. 本機を停止状態にします。

2. MENUボタンを押し、メニューモードにします。

- Pma Skip?と表示されます。

3. ジョグダイヤルを回して、Disc N Era?を選びます。



4. ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。

- ディスク名が消され、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

曲に名前をつける

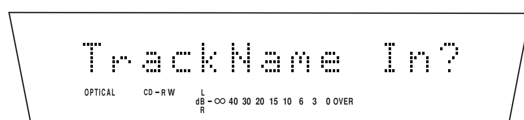
曲に名前をつける

本機やCD-TEXT対応のCDプレーヤー、CDレコーダーを使って、曲に名前をつけたディスクを再生すると、その曲名が表示されます。

1. **本機を停止状態にします。**

2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

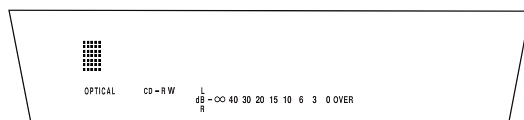
3. **ジョグダイヤルを回して、**Track Name In?**を選びます。**



4. **名前をつける曲を選ぶために、ジョグダイヤルを回す、またはリモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭ボタンを押します。**

5. **ジョグダイヤルを押し、曲を決定します。**

6. **入力する文字を選ぶために、ジョグダイヤルを回す、またはリモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭ボタンを押す、またはリモコンの数字ボタンを押します。**



- MENUボタンを押すことで、文字の種類を切り替えることができます。
- 入力できる文字は、「ディスクに名前をつける」と同じです。

7. **選んだ文字を決定するために、ジョグダイヤルを押す、またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

8. **他の文字を入力するには、手順*6*と*7*を繰り返します。**
- 20文字まで入力することができます。
- リモコンの◀◀ / ▶▶ボタンを押し入力する文字の位置を変更できます。

9. **■ ストップボタンを押します。**
- 入力した文字が確定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。
- ファイナライズする前に、ディスクを取り出すと、入力した曲名は消えます。
- ファイナライズしたCD-RWディスクをアンファイナライズすると、入力した曲名は消えます。
- ファイナライズする前に、本機をスタンバイにすると、入力した曲名は消えます。

10. **他の曲名をつける時は、手順*2*から*9*を繰り返します。**

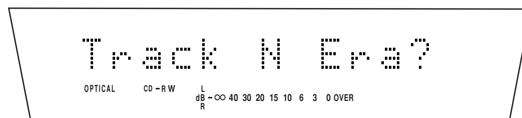
曲名を消す

ファイナライズする前のディスクであれば、ディスク名を消すことができます。

1. **本機を停止状態にします。**

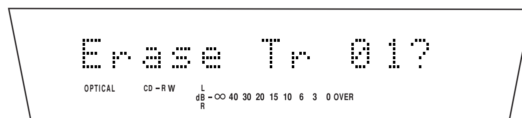
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Track N Era?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回し、曲名を消す曲を選びます。**



6. **ジョグダイヤルを押し、曲を決定します。**

7. **他の曲名を消す時は、手順*2*から*6*を繰り返します。**

本機の機能を細かく設定する

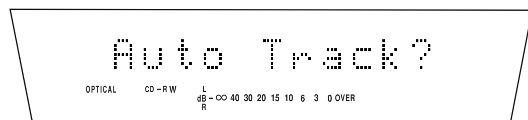
曲番を自動でつける（オートトラックインクリメント）

録音を行う時に、ソース側の曲番が変わっていくのに対応して、自動的に曲番を付けて行きます。ただし、自動的に曲番を付けていくのは、デジタル音源または曲間が2.7 秒以上のアナログ音源のみです。
また、手動にて曲番をつけていくことはできません。

1. **本機を停止状態にします。**

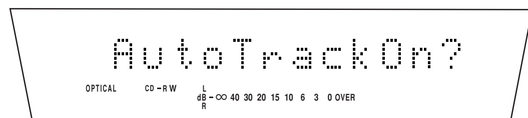
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Auto Track?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回して、オートトラックインクリメント機能を選びます。**



- AutoTrack On?を選ぶと、録音時オートトラックインクリメント機能が働きます。
  録音時AUTOが点灯します。
- AutoTrack Off?を選ぶと、録音時オートトラックインクリメント機能は働きません。ソース側に複数の曲があっても、１曲として録音されます。これは、ソース側がデジタルまたはアナログ音源のどちらでも同じです。

6. **ジョグダイヤルを押します。**
- 選択した機能が決定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

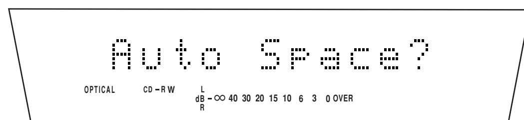
曲間にスペースを入れる（オートスペース）

録音を行う時に､録音を行う曲の前に無音部を作ります。

1. **本機を停止状態にします。**

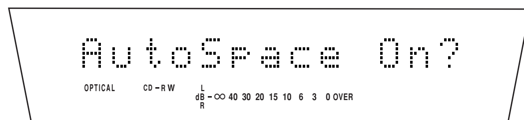
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Auto Space?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回して、オートスペース機能を選びます。**



- AutoSpace On?を選ぶと、録音時オートスペース機能が働きます。
- AutoSpace Off?を選ぶと、録音時オートスペース機能は働きません。

6. **ジョグダイヤルを押します。**
- 選択した機能が決定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

本機の機能を細かく設定する

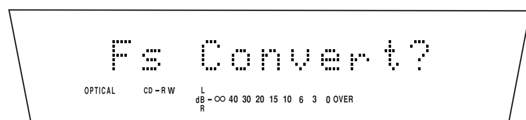
サンプリング周波数を変換する（FSコンバート）

ソース側のデジタル音源のサンプリング周波数が44.1kHz以外である時、再度サンプリング周波数を変換して44.1kHzにて録音することができます。
ただし、サンプリング周波数が32k/48kHzのときは、この機能の設定に関わらず44.1kHzに変換されます。
また、HDCDなど20bitで録音されているものは、16bitに変換されます。HDCDのダビングを行う際は、Convert Off?を選んで本機能を働かせないことをお勧めします。

1. **本機を停止状態にします。**

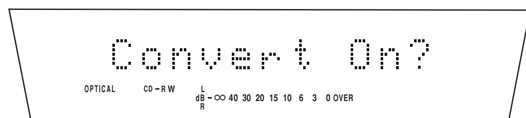
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Fs Convert?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回して、**FS**コンバート機能を選びます。**



- Convert On?を選ぶと、FSコンバート機能が働きます。録音時、サンプリング周波数が変換されます。
- Convert Off?を選ぶと、録音時FSコンバート機能は働きません。録音時は、音源のサンプリング周波数が録音されます。
  HDCDは、そのまま録音されます。

6. **ジョグダイヤルを押します。**
- 選択した機能が決定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

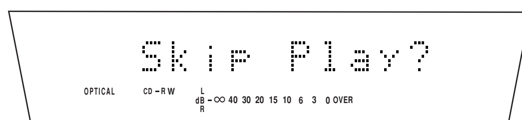
スキップ再生機能のオン・オフ

本機は再生時に、再生させたくない曲を指定できます。再生させたくない曲を指定しても、このスキッププレイ機能がオンになっていないと、通常の再生になります。

1. **本機を停止状態にします。**

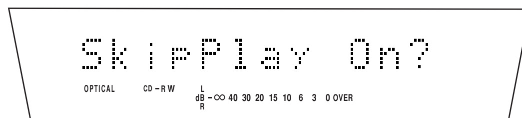
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Skip Play?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回して、スキッププレイ機能を選びます。**



- SkipPlay On?を選ぶと、スキッププレイ機能が働きます。再生時、指定した曲は再生されません。
- SkipPlay Off?を選ぶと、再生させたくない曲を選んでいても、通常の再生となり、全ての曲が再生されます。

6. **ジョグダイヤルを押します。**
- 選択した機能が決定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。

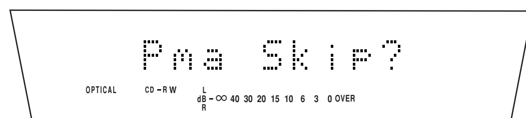
本機の機能を細かく設定する

再生させたくない曲の指定

本機は再生させたくない曲を指定できます。ただし、再生されない曲を指定しても、スキップ再生機能がオフになっていると、全ての曲が再生されます。
- この機能はファイナライズされる前のディスクのみ有効です。

1. **本機を停止状態にします。**

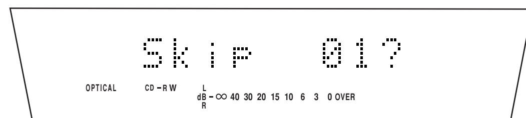
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**



- Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

4. **ジョグダイヤルを回して、再生させない曲を選びます。**



5. **ジョグダイヤルを押します。**
   - 選択した曲が決定し、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。
   - 他の曲も再生しない場合は、手順*2*から*4*までを行ってください。

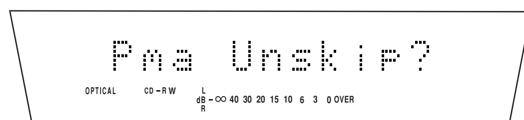
再生させたくない曲の解除

再生させたくない曲に指定された曲の解除ができます。
- この機能はファイナライズされる前のディスクのみ有効です。

1. **本機を停止状態にします。**

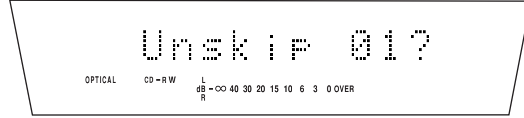
2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
   - Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Pma Unskip?**を選びます。**



4. **ジョグダイヤルを押し、メニューを決定します。**

5. **ジョグダイヤルを回して、解除する曲を選びます。**



6. **ジョグダイヤルを押します。**
   - 選択した曲が解除され、メニューモード操作を行う前の表示に戻ります。
   - 他の曲も解除したい場合は、手順*2*から*5*までを行ってください。

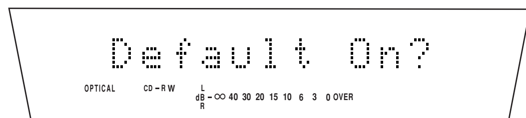
メニューモードを初期状態に戻す

メニューモードは、電源をスタンバイにすると設定された状態が初期状態に戻ります。また、メニューモードを使っても、変更した内容を全て初期状態（工場出荷時）に戻すことができます。

1. **本機を停止状態にします。**

2. MENU**ボタンを押し、メニューモードにします。**
   - Pma Skip?と表示されます。

3. **ジョグダイヤルを回して、**Default On?**を選びます。**



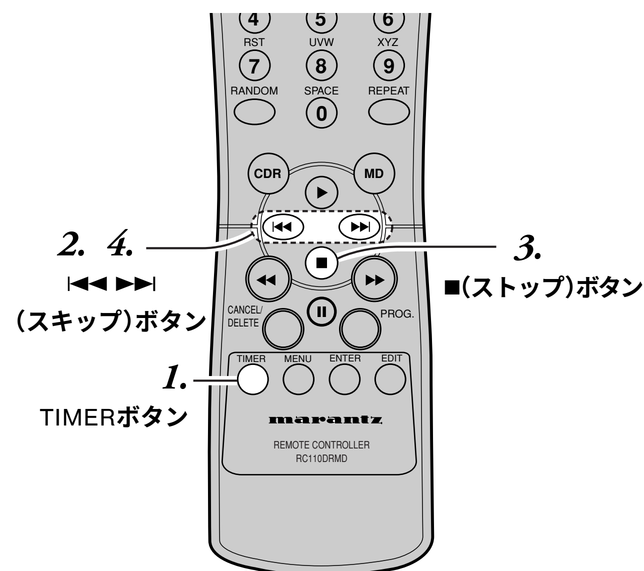
4. **ジョグダイヤルを押します。**
   - メニューモードの内容は、初期状態に戻ります。

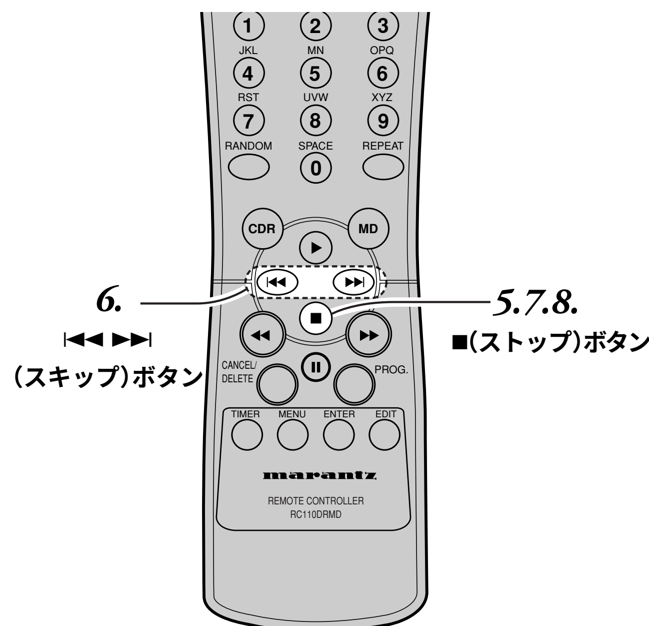
タイマー機能をつかう

時間設定をする

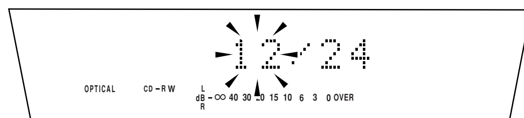
本機では、再生したい時間を設定してディスクを聞くことができます。このタイマー機能をお使いになる場合は、必ず時間設定を行ってください。

注意：レシーバー SR110 と接続してシステム機能をお使いになる場合、DR110 のタイマーおよび時間設定は機能しません。SR110 のタイマー機能をお使いください。





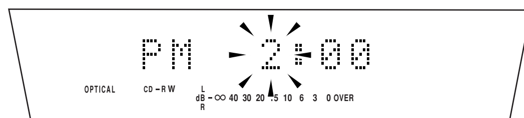
1. **リモコンのTIMERボタンを3秒以上押します。**
- 表示部に"12／24"が表示され、"12"が点滅しています。(12時間表示／24時間表示の選択)



2. **リモコンの⏮ ⏭ボタンで12時間表示／24時間表示を選びます。**

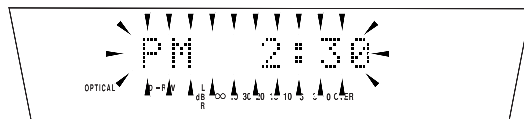
3. **確定するにはリモコンの■ボタンを押します。**
- 表示部に時間が表示され、「時」が点滅しています。(「時」の設定)

4. **リモコンの⏮ ⏭ボタンを押し、現在の「時」を設定します。**



5. **確定するにはリモコンの■ボタンを押します。**
- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。(「分」の設定)

6. **リモコンの⏮ ⏭ボタンで現在の「分」を設定します。**



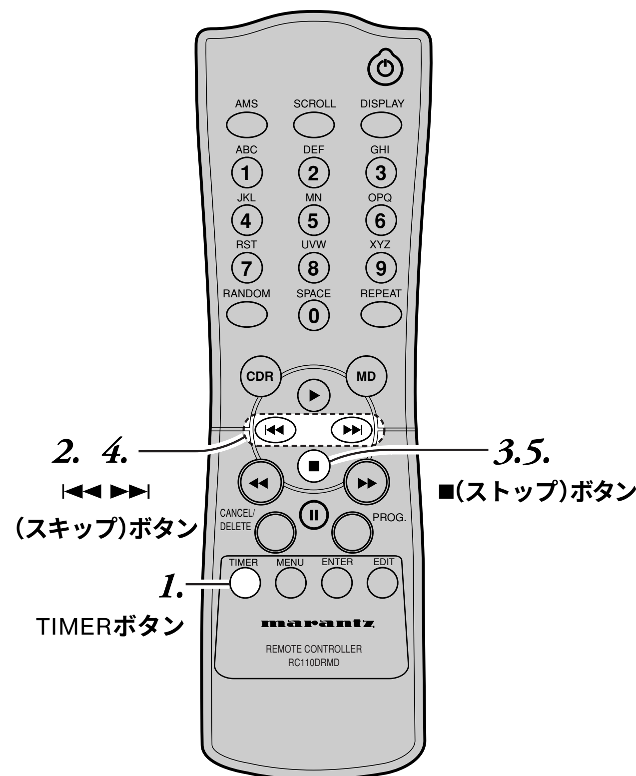
7. **確定するにはリモコンの■ボタンを押します。**
- 表示部に合わせた時間が点滅表示されます。(「秒」の設定)

8. **最後に、時報などに合わせてリモコンの■ボタンを押し、「秒」を合わせます。**
- 設定された後は、自動で時間設定モードが解除されます。

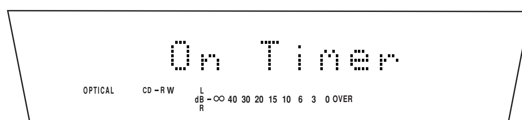
時間設定をする

タイマー再生を設定する

再生したい時間を設定してディスクを聞くことができます。タイマー再生するためにオンタイム／オフタイムを設定してください。

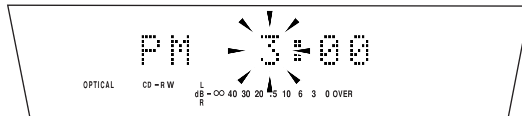


1. リモコンのTIMERボタンを1回押します。



- 表示部に"On Time"と表示した後に時間が表示され、「時」が点滅しています。(再生オン「時」の設定)

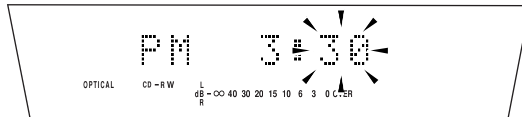
2. リモコンの|◀◀ ▶▶|ボタンで再生オンの「時」を設定します。



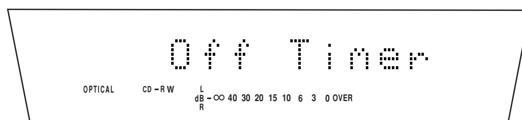
3. 確定するにはリモコンの■ボタンを押します。

- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。(再生オン「分」の設定)

4. リモコンの|◀◀ ▶▶|ボタンで再生オンの「分」を設定します。



5. 確定するにはリモコンの■ボタンを押します。



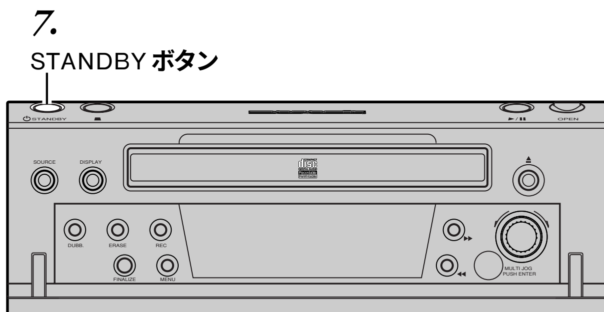
- 表示部に"Off Time"と表示した後に時間が表示され、「時」が点滅しています。(再生オフ「時」の設定)

6. 次に再生オフの時間を設定しますが、同じように手順2から5を行い「時」、「分」を設定してください。

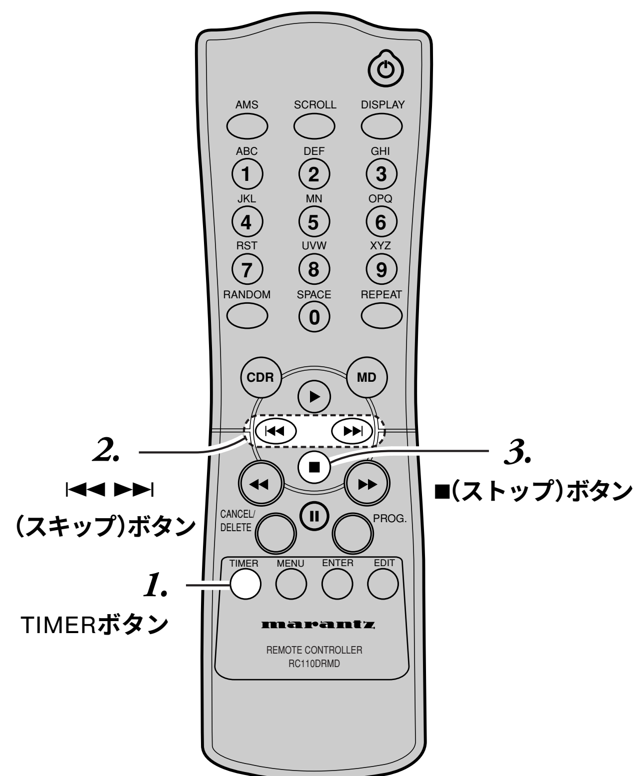
- 設定された後は、自動でタイマー設定モードが解除されます。
- 表示部に"TIMER"が表示されます。

7. 本機のSTANDBYボタンをOFFにします。

- ボタンがオレンジ色に点灯します。



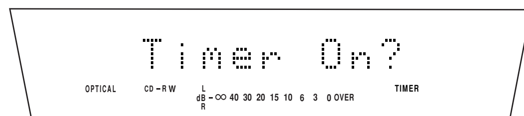
タイマー再生



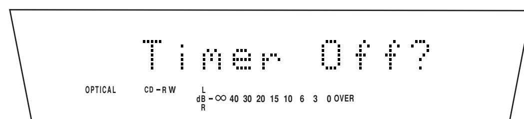
タイマー再生の設定／解除

1. **リモコンのTIMERボタンを2回押します。**
- 表示部に"Timer Off?"と表示されます。

2. **タイマー再生を設定するには、リモコンのスキップボタンで"Timer On?"を選びます。**



またはタイマー再生を解除するには、リモコンのスキップボタンで"Timer Off?"を選びます。



注　レシーバーSR110と接続してシステム機能をお使いになる場合、接続する前にDR110のタイマー機能は必ず"Timer Off?"に設定してください。

3. **確定するにはリモコンのストップボタンを押します。**

その他

故障とお考えになる前に

本機の調子がおかしいときは、サービスに依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡してください。

電源が入らない。
- 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

電源がオフできない。
- システム機能でご使用されている場合、DR110のパワーボタンが無効となります。当社レシーバーSR110のパワーボタンを押してください。

"DISC ERROR" が表示される。
- ディスクが損傷しています。ディスクを交換してください。

再生できない。
- 結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクをディスクトレーに正しく置いてください。
- ディスクのレーベル面（印刷面）が上になっているか確認してください。

音が出ない。
- システムとの接続ををもう一度確認してください。
- 音量等、アンプの操作を確認してください。

録音ができない。
- CD が入っている。
- ファイナライズされたCD-R(W)が入っている。CD-RWは、アンファイナライズを行うと追加で録音ができます。
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルが下がっていないか確認してください。
- 録音しようとする音源と入力モードが合っているか確認してください。
- アンプの操作を確認してください。

録音レベルが調節できない。
- CD シンクロダビング録音では、録音レベルは調整できません。

オートトラックインクリメント機能が働かない。
- メニューモードにて、オートトラックインクリメント機能がオンになっているか確認してください。
- 曲と曲の間に、2.7 秒間の無音状態があるか点検してください。（アナログ録音の場合のみ）
- IEC958（コンシューマ部）音声規格に従ったデジタル出力信号のコンシューマ音源であるか確認してください。
- 音源が、DVDディスクではないでしょうか。DVDディスクには、トラック情報はありません。

録音にひずみがある。
- 録音レベルの設定が高すぎないか点検してください。

タイトルおよび曲名が入力できない。
- ファイナライズされたCD-R(W)にはタイトルおよび曲名を入れることをできません。ファイナライズを行う前にタイトルおよび曲名を入れてください。

リモコンで操作ができない。
- リモコンの CDR ボタンを押してから操作してください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。確認または交換してください。
- リモコンの送信部が本機のリモートコントロールセンサーに正しく向けられていますか。システム接続時には、レシーバーSR110に正しく向けられていますか。また、この間にリモコンからの信号を遮るものはありませんか。
- リモートコントロールセンサーに強い光が当たっていませらんか。
- 本機後面のリモコンセレクターが"EXT."になっていませんか。レシーバー SR110 とシステム接続していないときは、"INT."にしてください。

タイマー設定ができない。
- システム機能でご使用されている場合（セレクタースイッチが "EXT." ）は、リモコンのTIMERボタンが無効となります。本機を単独でお使いの際には、セレクタースイッチを "INT." に切り替えてください。

メニューモードが表示されない。
- 本機に CD-R または CD-RW ディスクが入っていないと、メニューモードは表示されません。

リセットするには
- 本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズまたは静電気の影響などによって、正常な動作をしなくなることがあります。
- このような場合は、本機をオンにしたまま電源コードをコンセントから引き抜き、本機のスタンバイボタンを押しながらプラグに差し込んでマイコンをリセットしてください。リセットすると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。

ご注意
本機の誤動作や故障によって、正常に録音できなかった場合の損害（CDレンタル料など）は保証対象外となります。大切な録音の場合は、あらかじめ正常に録音できることを確認して録音してください。

保証とアフターサービス

1. この製品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低 8 年間保有しています。
5. 修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“ 故障とお考えになる前に ”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いて、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご連絡ください。

修理の際にご連絡いただきたい内容

1) 品名　CD レコーダー
2) 品番　DR110
3) お買い上げ日 年　月　日
4) ご住所
5) お名前
6) 電話番号
7) 故障の状況（できるだけ具体的に）

ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



仕様

本体 (DR110)

チャンネル数 2チャンネル
周波数特性 .... 20～20000 Hz
再生時
　S/N比 .... 90 dB
　ダイナミックレンジ .... 85 dB
　高周波歪率（1kHz） 0.04%
録音時（デジタル録音）
　S/N比 .... 90 dB
　ダイナミックレンジ .... 85 dB
　高周波歪率（1kHz） 0.04%
デジタル同軸入力 .... 32-48 kHz
デジタル光入力 .... 32-48 kHz
アナログ入力 .... 250 mV RMS/50 kΩ
音声出力 .... 2.0 V RMS

一般事項

一般
電源 .... AC 100 V　50/60 Hz
消費電力 .... 16　W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き） .... 210 × 71.5 × 310 mm
質量 .... 3.8 Kg（付属品含まず）
使用ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
使用温度範囲 .... 5～35℃

リモコン送信機 (RC110DRMD)

外形寸法（幅×高さ×奥行） .... 50.5×154.5×25mm
質量 60g

付属品

リモコン送信機 1個
単三形乾電池（SUM-3） 2本
オーディオケーブル 2本
リモートコントロールケーブル 1本
同軸ケーブル 1本
保証書 .... 1部（箱に貼り付け）
愛用者カード 1枚
取扱説明書（本書） 1冊

仕様および外観は改善のため、予告なく変更されることがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物（カラオケテープ・ミュージックテープなど）も同じように著作権法により保護されています。従って、それから録音したものを

- 売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- 営利（店のBGMなど）のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

日本音楽著作権協会

本　部	〒151-8540　東京都渋谷区上原 3-6-12 TEL (03)3481-2121（大代表）　FAX (03)3481-2150
北海道支部	（業務地域　北海道） 〒060-0001　札幌市中央区北一条西 3-2　大和銀行札幌ビル TEL (011)221-5088（代表）　FAX (011)221-1311
盛岡支部	（業務地域　岩手・青森・秋田） 〒020-0034　盛岡市盛岡駅前通 15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル TEL (019)652-3201（代表）　FAX (019)652-4010
仙台支部	（業務地域　宮城・山形・福島） 〒980-0021　仙台市青葉区中央 2-2-6　住友銀行仙台ビル TEL (022)264-2266（代表）　FAX (022)265-2706
長野支部	（業務地域　長野） 〒380-0823　長野市南千歳2-12-1　日本団体生命長野ビル TEL (026)225-7111（代表）　FAX (026)223-4767
大宮支部	（業務地域　埼玉・栃木・群馬・新潟） 〒331-0852　大宮市桜木町 1-7-5　ソニックシティビル TEL (048)643-5461（代表）　FAX (048)643-3567
上野支部	（業務地域　台東・文京・荒川・葛飾・足立・北各区・茨城） 〒110-0005　東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル TEL (03)3832-1033（代表）　FAX (03)3832-1040
東京支部	（業務地域　千代田・中央・港・墨田・江東・品川・大田・江戸川各区・島しょ部・千葉） 〒104-0061　東京都中央区銀座 1-15-6　共同ビル銀座1丁目 TEL (03)3562-4455（代表）　FAX (03)3562-4457
西東京支部	（業務地域　新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬区） 〒160-0022　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル TEL (03)3232-8301（代表）　FAX (03)3232-7798
東京イベント・コンサート(EC)支部	（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨） ＊コンサートや、イベント等における演奏・上映等 〒160-0022　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル TEL (03)5286-1671（代表）　FAX (03)5286-1670
立川支部	（業務地域　東京都市部、郡部（島しょ部を除く）・山梨） 〒190-0012　立川市曙町 2-22-20　立川センタービル TEL (0425)29-1500（代表）　FAX (0425)29-1515
横浜支部	（業務地域　神奈川） 〒231-0005　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル TEL (045)662-6551（代表）　FAX (045)662-6548
静岡支部	（業務地域　静岡） 〒420-0857　静岡市御幸町 11-30　エクセルワード静岡ビル TEL (054)254-2621（代表）　FAX (054)254-0285
中部支部	（業務地域　愛知・岐阜・三重） 〒450-0002　名古屋市中村区名駅 4-27-23 名古屋三井ビル東館 TEL (052)583-7590（代表）　FAX (052)583-7594
北陸支部	（業務地域　石川・富山・福井） 〒920-0853　金沢市本町 1-5-2　リファーレ TEL (076)221-3602（代表）　FAX (076)221-6109
京都支部	（業務地域　京都・滋賀・奈良） 〒600-8008　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル TEL (075)251-0134（代表）　FAX (075)251-0414
大阪支部	（業務地域　大阪・和歌山） 〒542-0081　大阪市中央区南船場 4-3-11　豊田ビル TEL (06)6244-0351（代表）　FAX (06)6244-1970
神戸支部	（業務地域　兵庫） 〒650-0024　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII TEL (078)322-0561（代表）　FAX (078)322-0975
中国支部	（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根） 〒730-0021　広島市中区胡町 4-21　朝日生命広島胡町ビル TEL (082)249-6362（代表）　FAX (082)246-4396
四国支部	（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛） 〒760-0023　高松市寿町 2-2-10　住友生命高松寿町ビル TEL (0878)21-9191（代表）　FAX (0878)22-5083
九州支部	（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本） 〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 2-1-1　福岡朝日ビル TEL (092)441-2285（代表）　FAX (092)441-4218
鹿児島支部	（業務地域　鹿児島・宮崎） 〒892-0842　鹿児島市東千石町 1-38　アイムビル TEL (099)224-6211（代表）　FAX (099)224-6106
那覇支部	（業務地域　沖縄） 〒900-0015　那覇市久茂地 1-3-1　久茂地セントラルビル TEL (098)863-1228（代表）　FAX (098)866-5074

日本マランツ株式会社

本　　社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7ー35ー1

お問い合わせは日本マランツ(株)お客様ご相談センターで承っております。

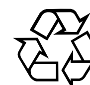
お客様ご相談センター　〒150-0022　**東京都渋谷区恵比寿南**1-11-9

電話（03**）**3719-3481

ご相談受付時間　9:30〜12:00、13:00〜17:00
（土・日・祝日、弊社休日を除く）

修理に関しましては下記日本マランツ(株)各サービスセンター、各営業所で承っております。

国内営業本部	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3719-2233
札幌営業所	〒060-0032	北海道札幌市中央区北二条東7-82	電話(011)231-5776
仙台営業所	〒982-0011	宮城県仙台市太白区長町3-7-13	電話(022)308-3566
東京マランツ営業所	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3793-5721
神奈川営業所	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-1245
名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-75	電話(052)776-5073
大阪営業所	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6504
広島営業所	〒732-0814	広島県広島市南区段原南2-12-27	電話(082)262-1265
福岡営業所	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町1-18	電話(092)441-9131
東京サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-0762
大阪サービスセンター	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6699



Printed in China　　01/06 MITi 326W851112